

森しげゆき通信

森しげゆき通信
平成18年 秋号
発行・森 成之

札幌市白石区本郷通2丁目北3-21

公明新聞記事 ダイジェスト版

北海道の活性化に生かす 北陸新幹線整備に伴う街づくりなど視察

<7.29付>

公明党の風間 稔参院議員は27日、富山、石川両県を訪れ、昨年4月着工し、2014年完成予定の北陸新幹線（富山―金沢区間）の建設現場などを視察。同時に着工の北海道新幹線（青森―函館区間）開通後の地域活性化に生かすため、駅周辺の街づくりなどで関係者と意見を交わした。これには森成之、佐藤英道、横山信一の各北海道議、高橋功、阿知良寛美の両札幌市議らが同行した。

一行は富山市で、独立行政法人「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」の北川隆新幹線部長らの案内で、新幹線と在来線の高架化や路面電車の乗り入れにより、都市機能を高めるJR富山駅付近連続立体交差事業を視察。この後、石川県金沢市に移動し、新幹線の駅を開通前から先行して建設することで、商業店舗に貸し出して敷地の有効活用を進めているJR金沢駅の整備事業を調査した。

さらに一行は石川県庁を訪問。懇談の中で角田隆企画振興部長は、観光地としての魅力を高めるため、民間と協力して街づくりに取り組んでいること



を説明。風間氏は「新幹線開業に伴う北海道の地域活性化対策に生かしたい」と述べた。

財政再建で市再生に全力

夕張市長らと意見交換

<7.03付>

公明党の渡辺孝男参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）は2日、財政再建団体指定の申請を表明した北海道夕張市を訪れ、市役所で後藤健二市長らと意見交換を行った。これには、党道本部に6月末設置された「空知旧産炭地域問題緊急対策本部」の稲津久本部長（道議、道代表）と森成之、佐藤英道の両道議、地元公明党市議が同席した。

初めに、後藤市長が炭鉱閉山後の人口減や閉山跡の処理、地方交付税交付額の減少など、市財政悪化の概況を説明。「再建策は道と協

不妊治療の課題は？

道議と市議ら北大病院教授と懇談

<6.05付>

公明党の北海道議、札幌市議らは5月19日、札幌市内の北海道大学病院を訪れ、水上尚典教授から不妊治療の課題等を聞いた。佐藤英道、森成之、戸田芳美の各道議、高橋功、青山浪子の各札幌市議のほか、道女性局の緒方恵子次長、浅見久美子・子育て支援プロジェクト事務局長が参加した。

教授によると、北大病院を訪れる不妊治療の患者の約85%が他の医療機関で既に治療を受けており、来院時に紹介状を持参しているケースがほとんど。同病院で不妊治療を受けて妊娠する年間約140人のうち、体外受精が約100人という。

また、体外受精などの保険適用外の不妊治療には、1回30万円程度かかることされ、不妊治療を希望する夫婦にとって金銭的負担とともに、「周囲の期待」など精神的な負担も大きいと指摘した。

この後、一行は院内のNICU（新生児集中治療室）や体外受精待合室を

大雨災害で現地調査 むかわ、日高町で実情聞く

<9.01付>

北海道議会公明党の森成之、佐藤英道の両議員は8月28日大雨災害を被った道内のむかわ、日高両町を訪れ、地元関係者から被害状況などを聞くとともに、復旧などに対する力強い支援の要望を受けた。これには、公明党の池田謙次・苫小牧市議、佐藤はなえ・日高町議も同行した。

8月18、19の両日、前線が台風10号の影響で活発化。日高観測所で総雨量311ミリを記録するなど、局地的な豪雨となり、住家の床上・床下浸水、田畑の冠水、河川の決壊、土砂の崩落など、両町一帯におびただしい被害をもたらした。

一行が訪れたむかわ町の穂別仁和地区では、農業用水路の地盤が決壊したり、土砂が水田に流入。約21ヘクタールを調査した。

ルの田畑を営む東千吉さんは「水田は3分の1、畑は半分以上やられた。用水路も来春までに復旧しなければ、営農ができない」などと、肩を落としていた。また、日高町役場では三輪茂町長らが、23日現在で被害総額20億3156万円になることなどを説明。特に、冠水、浸水被害がひどかった町内の平賀地区では「高規格道路の建設工事で水の流れが変わってしまった」として、排水路となるエシヨロカ川沿いの拡幅などを要望した。

これに対し、森道議は「国会議員と連携を取るとともに、近く開かれる定例道議会でも道に積極的な対応を要請していきたい」と答えた。



空の玄関口を花いっぱい！ 千歳ウエルカム花ロードプロジェクト

<8.30付>

空の玄関口を花で飾ろう――。北海道新千歳空港周辺のメインルート沿道に花を植栽する「千歳ウエルカム花ロードプロジェクト」の1回目が23日千歳市内で行われた。これには、花観光を推進してきた道議会公明党の森成之、佐藤英道の両議員、千歳市議会公明党の神田聖子議員も参加した。

この日、集合会場には、プロジェクトを主催した「新千歳空港アクセス沿道景観形成連絡会議」（国、道、千歳市で構成）のメンバーや市民ボランティア

不妊治療について道議会公明党は、定例会や少子・介護対策特別委員会での質問を通して、不妊治療への助成を推進。札幌市議会公明党も不妊治療助成や専門相談センターの設置を推進してきた。



今回のプロジェクトの目的は、年間1800万人が利用する新千歳空港周辺のイメージアップ。北海道では今、観光客をもてなそうと官民を挙げて各地で活発に「花いっぱい運動」を進めているが、道議会公明党も「花観光」の推進に全力で取り組んでいる。

昨年3月の予算特別委員会各部審査では、森議員が「千歳から札幌間のような、観光客が多数通過する道路沿いを花で埋める取り組みを検討すべきではないか」と提案。道側も「沿道景観の形成について検討する」と答えていた。

障害者自立支援の課題探る

岩見沢 福祉村」視察し意見交換

<8.08付>

公明党の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）と丸谷佳織衆院議員は7日、北海道岩見沢市の北海道社会福祉事業団「福祉村」（本庄昭良総合施設長、定員270人）を訪れ、今年4月に施行された「障害者自立支援法」に対する課題などについて施設関係者と意見交換を行った。公明党の道議、岩見沢市議も出席した。

福祉村は、1979年に北海道が脳性まひ等の重度障害者が安心して生活できる居住の場として設立。更生、授産、療護、通所授産の4施設がある。意見交換で、施設側は「支援法により、施設入所を継続できない利用者も出てくる」として、同村としての対応

と課題を説明。渡辺氏らに（1）市町村による障害程度区分の早期認定（2）グループホーム、ケアホーム、地域移行型ホームの身体障害者への適用（3）暖房費・除雪費などの寒冷地加算——を要望した。

また、入村者でつくる福祉村自治会の阿部正男代表からも「施設利用料等の負担に見合う所得保障を」「夫婦の一方が要介護認定で施設から退去させられることのないように」など、10点にわたる要望が出された。

この後、一行は村内を視察。渡辺氏は「地域自立への受け皿が、まだしっかりしていない。障害者の希望を取り入れた経過措置や、就労支援も必要だ」と語っていた。



地域が輝く社会へ—札幌市で列島フォーラム

<7.25付>

公明党の浜四津敏子代表代行は24日、札幌市内で開かれた「列島縦断フォーラム」に出席し、北海道が抱える行財

政や経済、農業などの諸問題について、自治体や関係団体の代表者と活発に意見

放射線科医の育成を

北海道がんセンターを訪問

<7.25付>

公明党の浜四津敏子代表代行、井上義久政務調査会長らは24日、札幌市にある「独立行政法人 国立病院機構北海道がんセンター」を訪れ、放射線治療の現場を視察した。これには、西博義、丸谷佳織の両衆院議員、風間昶、渡辺たかおの両参院議員、北海道議、札幌市議らが同行した（写真上）。

放射線がん病棟に集中して照射するリニアック（放射線がん治療器）室を視察。イリジウムなどの放射線線源を病棟に挿入する小線源治療についても説明を受けた。

また、センター側からは放射線医療に対する理解が国内で進んでいない現状などが語られたほか、放射線腫瘍医を育成できる医学部教育と研修制度の確立、医学物理士（放射線治療品質管理士）の国家資格化などが求められた。

井上政調会長は、「今後策定するがん対策の基本計画に意見を反映させた」と語った。

この日、道議会公明党の荒島仁、佐藤英道、稲津久、森成之、戸田芳美、横山信一の各議員は、下川町役場で安齋保町長と懇談後、下川町森林組合を訪問。同組合やNPO法人「森の生活」、同町商工林務課などで構成される「しもかわ森林療法協議会」の取り組みについて、奈須憲一郎・同協議会会長から話を聞いた。

見を交わした。井上義久政務調査会長のほか、西博義、丸谷佳織両衆院議員、風間昶（北海道方面議長、渡辺たかお（参院選予定候補Ⅱ比例区）両参院議員らが参加した。

このうち、自治体と経済団体関係者とのフォーラムで、浜四津代行は、公明党が「骨太の方針2006」をめぐる地方交付税の抑制論議で、「地方の実情を無視した一方的な削減は問題だ」として、現行法定率の維持を求めたと強調。その上で、先の通常国会で継続審議となった道州制特区推進法案について「秋の臨時国会で早期に成立を図りたい」と述べた。風間氏は、「地域が光り輝く社会」へ公明党が果たす役割を力説した。

自治体からは、山本邦彦・道副知事が、道と道内市町村の危機的な財政状況を説明し、地方交付税を安定的に確保

森のいやしで心も体も元気に！——。森林療法の普及を推進する北海道議会公明党は12日、産学官協働で森林保養地づくりを目指す北海道下川町を訪問。同町で実施されている森林療法プログラムの一部を体験した。

面積6万4420ヘクタールの約9割が森林という下川町。社会や経済、環境に配慮した森林管理に対する世界基準の「FSC（森林管理協議会）森林認証」を2003年8月に北海道で初めて取得。森の恵みを有効活用しながら、豊かな環境を次世代に引き継ぐための森林づくりを進めている。

その後、一行は同町市街から約6キロメートルにある「体験の森」に移動し、奈須会長らの誘導で遊歩道を散策。この前後に、各議員は森林環境が心身に与える効

果を探るため、唾液中のコルチゾール濃度を測定した。コルチゾールはストレスを受けると分泌される副腎皮質ホルモンの一つ。散策自体は20分という短時間だったが、森に入る前に比べ、コルチゾールが半減した議員も。このほか、自律神経バ

道議会公明党は森林療法の普及を推進。道議会予算特別委員会、04年12月に戸田道議が、昨年12月には佐藤道議がそれぞれ森林療法の普及推進を主張している。また、北海道の森林を活用した健康づくりを推進する団体「北の森林と健康ネットワーク」には、森、戸田道議が参加。今後、会派として施策推進に取り組む方針だ。

道議会公明党は森林療法の普及を推進。道議会予算特別委員会、04年12月に戸田道議が、昨年12月には佐藤道議がそれぞれ森林療法の普及推進を主張している。また、北海道の森林を活用した健康づくりを推進する団体「北の森林と健康ネットワーク」には、森、戸田道議が参加。今後、会派として施策推進に取り組む方針だ。

道議会公明党は森林療法の普及を推進。道議会予算特別委員会、04年12月に戸田道議が、昨年12月には佐藤道議がそれぞれ森林療法の普及推進を主張している。また、北海道の森林を活用した健康づくりを推進する団体「北の森林と健康ネットワーク」には、森、戸田道議が参加。今後、会派として施策推進に取り組む方針だ。

道議会公明党は森林療法の普及を推進。道議会予算特別委員会、04年12月に戸田道議が、昨年12月には佐藤道議がそれぞれ森林療法の普及推進を主張している。また、北海道の森林を活用した健康づくりを推進する団体「北の森林と健康ネットワーク」には、森、戸田道議が参加。今後、会派として施策推進に取り組む方針だ。



公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

市議らが参加した（写真下）。漁業団体側からは、現在進められている水産基本計画の見直しに際して、（1）漁業経営所得安定制度の創設（2）漁業・漁村の持つ多面的機能を維持・増進するための交付金制度の創設——の2点が特に強く求められた。渡辺氏は、「漁業者経営安定のための対策実現に向け、頑張りたい」と答えた。

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

漁業の経営安定策を

水産政策懇談会に出席

<8.08付>

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

市議らが参加した（写真下）。漁業団体側からは、現在進められている水産基本計画の見直しに際して、（1）漁業経営所得安定制度の創設（2）漁業・漁村の持つ多面的機能を維持・増進するための交付金制度の創設——の2点が特に強く求められた。渡辺氏は、「漁業者経営安定のための対策実現に向け、頑張りたい」と答えた。



公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

市議らが参加した（写真下）。漁業団体側からは、現在進められている水産基本計画の見直しに際して、（1）漁業経営所得安定制度の創設（2）漁業・漁村の持つ多面的機能を維持・増進するための交付金制度の創設——の2点が特に強く求められた。渡辺氏は、「漁業者経営安定のための対策実現に向け、頑張りたい」と答えた。



公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌

公明党北海道本部（稲津久代表Ⅱ道議）は7日、札幌市内で「水産政策懇談会」を開き、北島哲夫・北海道漁業協同組合連合会代表理事会長をはじめ、10の漁業団体の役員らから水産政策に関する要望を受けた。道庁からは山本邦彦・道副知事らも出席した。これには、党農林漁業活性化推進本部長の渡辺たかお参院議員（参院選予定候補Ⅱ比例区）や丸谷佳織衆院議員、道議、札幌